

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	藤上・前田	佐野・加藤
内線	4386	
電話	086-272-1148	

お 知 ら せ

古^{いにしえ}の田植え風景を楽しむ～後楽園「お田植え祭」^{まつり}を開催～

岡山後楽園では、毎年恒例の「お田植え祭」を開催します。また、「お田植え祭」の翌日には、岡山市内の小学校児童による田植え体験会を行いますので、併せてお知らせします。なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

1 概 要

昭和37年から毎年開催している恒例行事で、新見市の太鼓田植保存会の皆さんに、伝統の田植え踊りと太鼓田植を披露していただきます。

男衆の打つ太鼓と田植え歌に合わせて、菅笠に紺がすり姿の早乙女がテンポ良く手植えをしていきます。また、一般の方も早乙女と一緒に田植えを体験できます。

「お田植え祭」の翌日には、岡山市立岡山中央小学校5年生の児童が、授業の一環として、田植え体験をします。

(1) お田植え祭

- ① 開催日 令和5年6月11日（日）
※雨天の場合でも行いますが、暴風等の場合には中止になることがあります。なお、中止の場合には、決まり次第公式ホームページにてお知らせします。
- ② 時 間
 - ・午前の部 11:00～12:00
「哲西はやし田植え保存会」^{おきつたくし}（沖津巧士会長）による田植え踊りと太鼓田植の実演
 - ・午後の部 13:00～14:00
「神代郷土民謡保存会」^{つとむ}（高田任会長）による田植え踊りと太鼓田植の実演
- ③ 場 所 後楽園内^{せいでん} 井田（4区画 約500㎡）
- ④ 田植え体験
午前の部・午後の部とも、保存会による太鼓田植えの実演の中で、一般の方も早乙女と一緒に田植えを体験できます。
（定 員）各回とも先着30名
（対 象）小学生以上
（参加方法）当日会場にて受付
（体験時間）午前の部 11:30～12:00（受付11:00～）
午後の部 13:30～14:00（受付13:00～）
※定員に達し次第締切
（参 加 費）無料
- ⑤ その他
保存会の太鼓田植えは、平成20年に岡山県指定重要無形民俗文化財に指定されています。裏面に続く

(2) 岡山中央小学校田植え体験会

① 日 時 令和5年6月12日(月)

9:30～2時間程度

※雨天の場合は6月13日(火)に延期します。

② 参加者 岡山市立岡山中央小学校5年生児童130名

③ 場 所 後楽園内 井田(せいでん)(2区画 約250㎡)

<参 考>

○ 後楽園の田植えと井田

後楽園の園内には、築庭当初から広く田畑が作られ、元禄2年(1689年)夏には田植えが行われたという記録も残っています。近隣の農家から早乙女を招いて定期的に田植えの行事を行い、藩主がその様子を延養亭や流店の二階から見ることもありました。

井田は中国周時代の田租法で、四角形の田を9区画に分けて、中央の田を年貢として納めるための公田として8軒が共同で耕作し、周囲の8区画は各家の私田として耕作するというものです。聖人の治世に行われたとされる理想の田租法で、儒教の精神をあらわすものです。

後楽園の井田は幕末近くに作られたもので、文久3年(1863年)の絵図に初めて描かれています。かつては園内に広く田畑が作られていましたが、その後、芝生地になり、明治17年(1884年)に後楽園が岡山県に譲渡されてからは、井田だけがかつての田畑の名残をとどめるものとなりました。

○ 後楽園のお田植え祭

現在の「お田植え祭」は、古式ゆかしい田植えを現在の人にしのんでいただくため、昭和37年から始めたもので、毎年6月第2日曜日に開催する恒例行事となっています。

昭和51年から新見市哲西町の「哲西はやし田植え保存会」の方々に、昭和61年からは新見市神郷の「神代郷土民謡保存会」の方々にもご協力いただき、今ではすっかり見られなくなった、「さげ」と呼ばれる男衆の打つ太鼓の音と田植え歌に合わせて「早乙女」による伝統の田植え踊りや太鼓田植えをご覧いただいております。

なお、平成18年からは、一般の方も田植え実演の中で早乙女と一緒に田植えを体験していただいております。

○ 田植え体験会

平成12年おかやま後楽園300年祭で公募により実施した体験会を契機に始めたものです。平成17年度からは、田植えの機会が少ないと思われる中心市街地の小学生ということで、岡山市立岡山中央小学校の5年生児童に田植えと稲刈りを体験していただいております。